

秋田駒ヶ岳の噴火に備えて 有珠山と岩手山の事例を学ぶ講演会を開催します！

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所、岩手河川国道事務所では、秋田駒ヶ岳の今後の活動の活発化に備え、火山防災対策のあり方を地域の方々に理解していただくと共に、関係機関がその認識を深めるために、下記のとおり有珠山や岩手山といった先進地域の取組を紹介する講演会を開催することといたしました。

1. 日 時 : 平成 24 年 2 月 23 日 (木) 13:00~15:00
2. 場 所 : 秋田県仙北市 田沢湖総合開発センター
秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後 27 TEL 0187-43-1061
3. 内 容 : 「有珠火山における火山防災体制について」
環境防災総合政策研究機構理事 岡田 弘氏
「地域が連携した岩手山の噴火危機対応」
放送大学岩手学習センター所長 齋藤 徳美氏
4. 開催概要: 別紙のとおり

<発表記者会>

秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局・角館支局
岩手県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

【湯沢河川国道事務所】(秋田県側対応)

住所 湯沢市関口字上寺沢 64 番 2 号

TEL 0183-73-5544

調査第一課長 磯部 良太 (内線 351)

【岩手河川国道事務所】(岩手県側対応)

住所 盛岡市上田四丁目 2-2

TEL 019-624-3166

調査第一課長 藤村 直樹 (内線 351)

秋田駒ヶ岳の噴火に備えて 有珠山と岩手山の事例を学ぶ講演会 ～開催案内～

先般発生した東北地方太平洋沖地震により、三陸沿岸は最近110年余で3度目の大津波に襲われ、多くの人々が命や生活基盤を失いました。決して稀ではない地球の息吹である自然災害に対し、私たちは自ら身を守ることの大切さを改めて思い知らされたところです。

このマグニチュード9.0という巨大地震は、日本各地で地震や火山の噴火などに影響を及ぼすかもしれないと指摘されています。秋田県・岩手県境にそびえる活火山、秋田駒ヶ岳は、1970年の噴火以降は静穏ですが、2009年から女岳北東斜面に新たに噴気地帯が出現し、関係機関が活動の推移を注視しているところです。今後の活動の活発化に備え、火山防災対策のあり方を地域の方々に理解していただくと共に、関係機関がその認識を深めるために、有珠山や岩手山といった先進地域の取組を紹介する講演会を開催することといたしました。

◆実施日時/会場

- ・実施日時：平成24年2月23日（木）13:00～15:00
- ・会場：田沢湖総合開発センター 大集会室

◆講演内容

- ・「有珠火山における火山防災体制について」
環境防災総合政策研究機構理事 岡田 弘氏
- ・「地域が連携した岩手山の噴火危機対応」
放送大学岩手学習センター所長 齋藤 徳美氏



1970年噴火時の様子(噴火口は女岳山頂)

■参加費

- ・無料(定員100名)

■申し込み方法

電子メール又はFAXで氏名(企業・団体として参加される場合は、企業・団体名及び所属を含む)をお知らせください。

- ・電子メールの場合：yuzawa@thr.mlit.go.jp
- ・FAXの場合：0183-72-2164

※会場に空席がある場合は事前申し込みがない場合でも参加可能です。

■申し込み締め切り

- ・平成24年2月20日(月) ※定員に達した場合は先着順となります。



【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

調査第一課長 磯部 (TEL:0183-73-5544)

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

調査第一課長 藤村 (TEL:019-624-3166)

【講師略歴】



おかだ ひろむ
岡田 弘

昭和18年12月27日生まれ 長野県出身 理学博士
現職：環境防災総合政策研究機構理事

昭和43年3月 北海道大学大学院理学研究科修士課程修了
昭和43年4月 北海道大学理学部助手
昭和62年4月 北海道大学理学部附属有珠火山観測所所長
平成10年8月 北海道大学大学院理学研究科教授
平成19年4月 北海道大学退職、北海道大学名誉教授
平成19年4月 現職

地震学・火山学・減災科学を専攻。2度の有珠山噴火や内外の火山危機に「主治医」として長年活躍。2000年の有珠山噴火に際しては、行政や研究機関をはじめとする関係機関の連携の要として、有珠山周辺の住民を適切な避難行動に導き、一人の人的被害も出さずに防災対応を成功させた。平成13年（2001年）度防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。



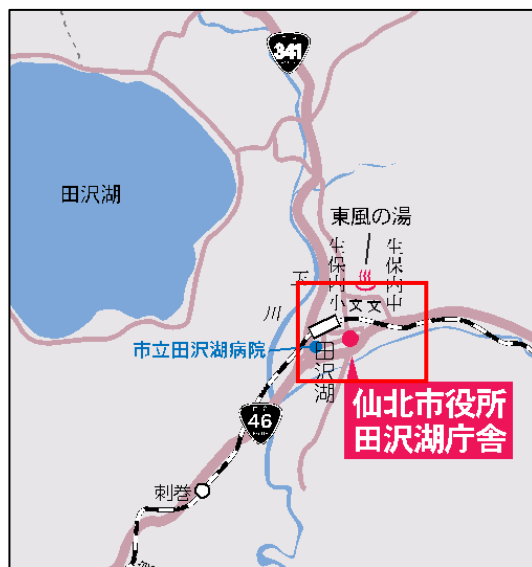
さいとう とくみ
齋藤 徳美

昭和20年3月31日生まれ 秋田県出身 工学博士
現職：放送大学岩手学習センター所長

昭和48年3月 東北大学大学院工学研究科博士課程修了（工学博士）
昭和53年4月 岩手大学工学部助手
平成4年6月 岩手大学工学部教授
平成16年4月 国立大学法人岩手大学理事・副学長
平成22年6月 岩手大学退職、岩手大学名誉教授
平成22年6月 現職

1998年岩手山の噴火危機に際して、研究機関・防災関係機関・報道機関・住民が連携して地域の安全を守る「減災の四角錐」体制の構築を先導した。現在も「岩手山の火山活動に関する検討会」座長として、秋田駒ヶ岳も含めた岩手県の火山を監視。東日本大震災で岩手県の津波復興計画を策定する「総合企画専門員会」委員長を務める。

【会場案内図】



■田沢湖総合開発センター■
秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後27
電話番号：0187-43-1061
（駐車場60台あり）